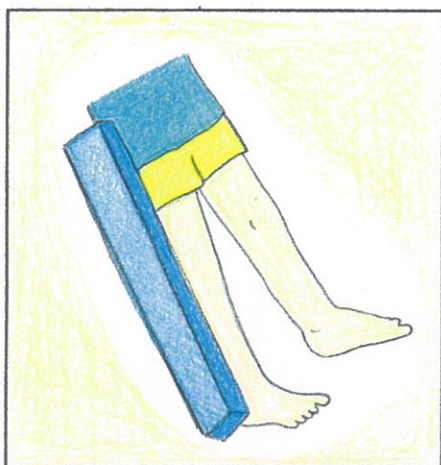
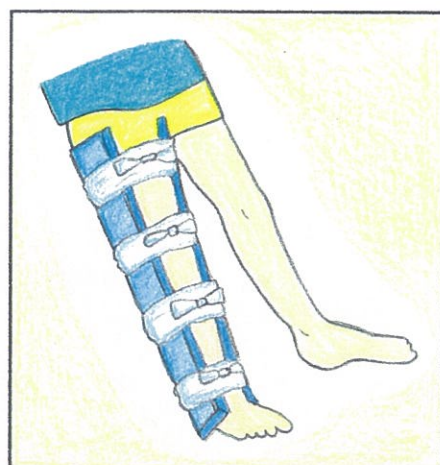


大腿部

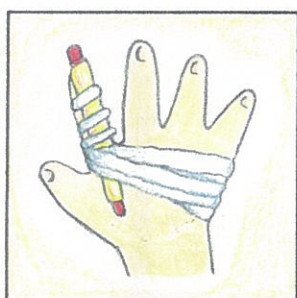


①足首からお尻まで届く添え木を用意する。



②骨折した足の内側と外側の両側に添え木を当て固定する。

指



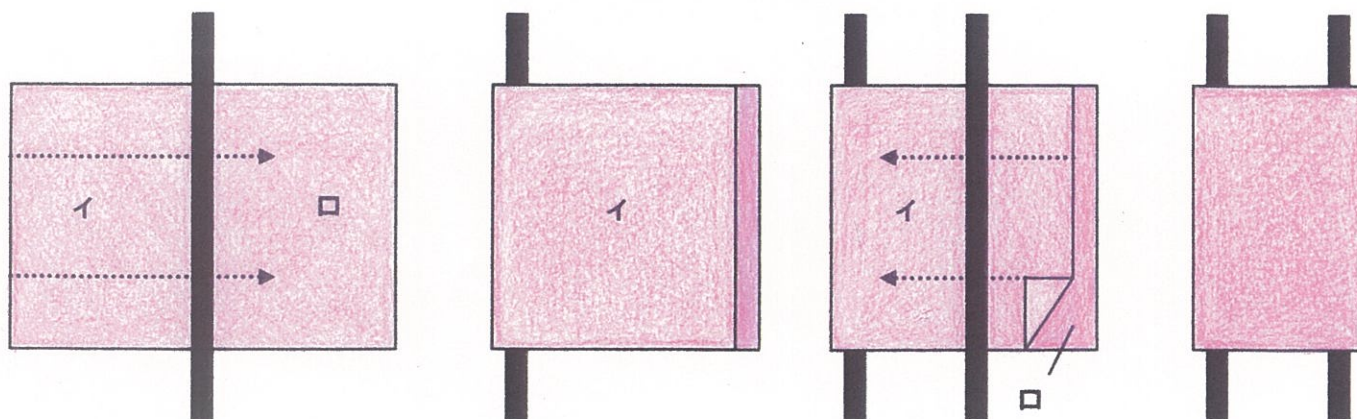
①布を巻いた鉛筆や割り箸を利用する。

ひじ



①添え木を当て、包帯でしっかりと固定し、腕を三角巾で首からつる。

<応急担架の作り方>



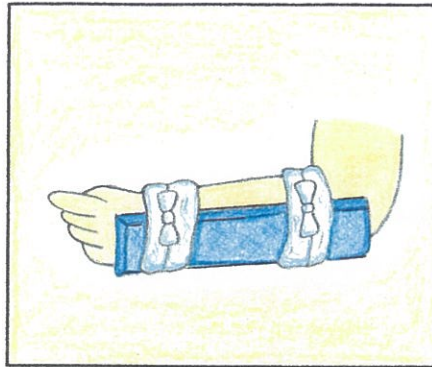
長い棒 2 本と毛布を使っの説明図です。
毛布の代わりに服のボタンをとめ、袖に通すこともできます。なければロープを編んで作ることもできます。

＜添え木のあて方＞

手首



①手のひらが上を向くようにひじを曲げる。



②添え木は、骨折した箇所の上下の関節に届く長さが必要。



③ひじよりも指先が高くなるように、三角巾で首からつる。

鎖骨



①骨折した方のわきの下にタオルを当てる。



②手首をおなかの位置に置き、三角巾で首からつる。

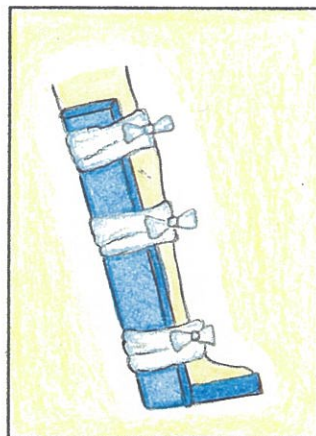


③もう一枚三角巾を用意し、ひじを胸につけ固定する。

足首

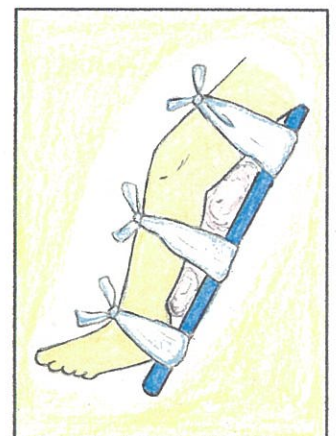


①子どもが痛がらない範囲で靴・靴下を脱がせる。



②足底からひざまで届く長さの添え木を当て包帯や三角巾を巻いて固定する。

ひざ



①足首からももまで届く添え木を用意し、足と添え木のすき間に綿や布を入れ固定する。